

年内の値上げ 2万品目超え

民間調査会社

食品の値上がりが続き、
家計を直撃しています。

民間信用調査会社の帝国
データバンクが6月30日発
表した調査結果によると、
6月末までに累計1万522
57品目で値上げが判明し
ました。6月1日時点の前
回調査(1万780品目)

から1カ月間で5000品
目を迫る追加の値上げ計画
が明らかになりました。7
月単月での値上げは158
8品目が実施されるほか、
8月は初めて2000品目
を超える見込みです。

↓関連表①面

これまで、食料品価格の
主な要因は、世界的な小麦
価格の高騰や原油価格の高
騰でした。しかし、夏以降

安倍晋三元首相は、遊説
先(6月29日、大分市)で「基
本的には円安というのは日
本の経済にはプラス」と語
っています。しかしこれは、
円安ドル高が有利に働く、
海外で稼ぐ一握りの大企業
の話です。アベノミクスの
金融緩和の失政を背景にし
た急激な円安は、庶民の家
計負担をますます拡大して
いきます。

は、激的に進んだ円安によ
る輸入コストの上昇を主な
値上げの理由とするケース
が国立ってきました。今年
初めに値上げを行っている
企業では、足元の円安を受
け、再値上げ・再再値上げなど
いった動きが進んでいま
す。帝国データバンクは、「急
激に進む円安を背景に価格
改定を行うケースは増加」
するとして、「値上げは秋口
にかけてさらに増加し、年
内で累計2万品目を超える
可能性が高い」と分析して
います。